2022 年度　桐朋女子中学校入学試験（B 入試）

筆記試験（社会）

【注意】

(1)　問題冊子が配られても，開いてはいけません。

(2)　問題冊子は 1 ページから 14 ページまであります。

(3)　「はじめてください」と言われたら，まず，問題冊子の表紙と解答用紙に，それぞれ受験番号と氏名を書きなさい。

(4)　答えはすべて解答用紙に書きなさい。

(5)　語句を答えるときは，漢字で書けるものは漢字で解答しなさい。

(6)　問題冊子に書きこみをしてもかまいません。

(7)　解答用紙の※印の空らんには何も書いてはいけません。

(8)　「やめてください」と言われたら，すぐに筆記用具をおき，解答用紙も問題冊子も表を上にして，机の上におきなさい。

(9)　試験時間は 30 分間です。

受験番号		氏名	

1　小学生の桐子さんは歴史上の「旅」に興味を持ち、自分なりに調べてみることにしました。以下のカード①～⑤は桐子さんがまとめたものです。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【カード①：縄文・弥生・古墳時代の旅】

縄文時代、人々は狩りや漁、木の実などの採集をして暮らしていました。しかし、石器をつくるのに必要な黒曜石や、生活に必要な塩がむらの近くでとれるとは限りませんでした。そこで遠くのむらと物々交換をすることで必要なものを手に入れていました。このときの移動がこの時代の人々にとって、最初の「旅」であったと想像できます。その後、弥生時代から古墳時代にかけて大陸から米づくりの技術や土木工事、養蚕、織物等の進んだ技術が伝わりましたが、a)これらを伝えたのが渡来人と呼ばれる人々でした。彼らは、中国や朝鮮半島での争いを逃れて日本に移り住んだのですが、彼らにとっては日本への航海もまた「旅」であったと言えるでしょう。

【カード②：飛鳥・奈良・平安時代の旅】

朝廷の力が強くなる中で、畿内と地方を結びつける七本の大きな道（七道）がひらかれました。この道を通じて人々は移動を行いました。例えばb)奈良時代には、農民は調や庸という税を納めるために都へ上りました。また、防人に選ばれた人は難波の港まで歩き、そこから船で博多まで移動しました。いずれもつらく苦しい「旅」でした。また、平安時代には天皇や貴族が地方の寺や神社にお参りの「旅」に出ることもありました。とくに現在の和歌山県のc)熊野本宮にお参りする「熊野もうで」がさかんに行われました。しかし、これも紀伊半島のけわしい山道を行く「旅」でした。

【カード③：鎌倉・室町時代の旅】

d)鎌倉時代には、都と鎌倉を結ぶ道の重要性が増していきました。朝廷や幕府の使者や、荘園からの年貢輸送を行う人々の行き来がさかんになりました。また、鎌倉時代から室町時代にかけて、二毛作の広まりや草木灰などの肥料の使用等によって農作物の収穫が増えていきました。すると、織物や焼物等の手工業も発達しました。こうして産業がさかんになる中で、人が多く集まる場所で市が開かれるようになると、商人の行き来も増えました。商業のための「旅」が始まっていったのです。

【カード④：江戸時代の旅】

江戸時代には、東海道をはじめとする五街道が整備されました。その道中にはたくさんの宿場町がおかれ、道の両側には並木が植えられる等「旅」の安全がはかられるようになりました。このように e)交通路の整備が行われ、人の往来は今まで以上に活発になりました。すると、庶民が「旅」に出る機会も増えていきました。庶民の「旅」の代表的な例として、現在の三重県の伊勢神宮にお参りする「伊勢参り」が挙げられます。しかし彼らは伊勢神宮をお参りするだけでなく、その帰りに奈良や京都の名所や寺院、また大阪の芝居見物を行うこともありました。このことから、江戸時代の「旅」には、それまでの時代にはなかった特ちょうがあることがわかります。その特ちょうとは、［ X ］というものです。これは明治時代以降の「旅」にも受けつがれていきました。

【カード⑤：明治時代以降の旅】

f)明治時代の政府は、欧米の国々に追いつこうとして積極的にその技術を学びました。そうした中で、鉄道等の交通機関が普及していきました。大正時代にはタクシーが登場し、関東大震災の翌年には東京で市営バスの営業も始まりました。バスは庶民でも手軽に利用できたので、移動の手段として広く使われるようになりました。g)第二次世界大戦後の 1950 年代中頃からは、日本の経済が急速に発展していきました。人々の生活はますます豊かになり、1964 年のオリンピック東京大会の開さいにともなって高速道路がつくられ、東海道新幹線が開通する等交通網の整備も進みました。こうして現在、私たちはより気軽に「旅」に出られるようになっています。

問1　文中の下線部 a)について、渡来人が日本に伝えたものとしてふさわしくないものを、次の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

ア　鉄器　　イ　乗馬技術　　ウ　平仮名　　エ　仏教

問2　文中の下線部 b)について、奈良時代の農民の負担に関して述べた文として正しいものを、次の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

ア　調という税は、稲の収穫高の約 3%を都へと納めるものであった。

イ　庸という税は、都での 10 日間の労役の代わりに、布を納めるものであった。

ウ　租という税は、布や工芸品等のその国の特産品を納めるものであった。

エ　防人とは、九州南部の警備を行う兵役で、任期は 3 年であった。

問3　文中の下線部 c)について、「熊野もうで」とは熊野の地を極楽浄土に見立て、熊野本宮にまつられている神を「阿弥陀如来」として参拝することから、浄土信仰に関係が深いとされています。平安時代には、このような浄土信仰がさかんになりました。下の写真の建物もそうした阿弥陀如来をまつる「阿弥陀堂」として知られています。この建物の名称と、これを建てた一族の組み合わせとして正しいものを、次の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

ア　中尊寺金色堂 - 蘇我氏
イ　中尊寺金色堂 - 藤原氏
ウ　平等院鳳凰堂 - 蘇我氏
エ　平等院鳳凰堂 - 藤原氏

問4　文中の下線部 d)について、あとの問いに答えなさい。

（1）鎌倉時代には、海をこえて日本にせめこんできた国がありました。この国の名前を漢字1字で書きなさい。

（2）（1）の出来事の結果と影響に関して述べた文として正しいものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア　鎌倉幕府はこの国の攻撃をしりぞけることに失敗したが、戦いのあと、御家人たちの協力もあって幕府は再び力をつけていった。

イ　鎌倉幕府はこの国の攻撃をしりぞけることに失敗し、戦いのあと、御家人たちは幕府に不満を持つようになっていった。

ウ　鎌倉幕府はこの国の攻撃をしりぞけることに成功し、戦いのあと、幕府と御家人の信頼関係がますます深まっていった。

エ　鎌倉幕府はこの国の攻撃をしりぞけることに成功したが、戦いのあと、御家人たちは幕府に不満を持つようになっていった。

問5　文中の下線部 e)について、交通路が整備されたことと関係の深い幕府の政策として最もふさわしいものを、次の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

ア　参勤交代　　イ　廃藩置県　　ウ　検地　　エ　鎖国

問6　文中の空らん［ X ］について、ここにはどのような言葉がふさわしいですか。カード①～⑤の文も参考にしながら、10 字以内で書きなさい。ただし記号や句読点も 1 字として数えます。

問7　文中の下線部 f)について、あとの問いに答えなさい。

（１）明治時代のはじめ、欧米の国々に向けて使節団が出発しました。この使節団の目的は、江戸時代末期に幕府が結んだ不平等条約改正のための交渉と、欧米の国々の視察でした。約２年をかけて世界を旅したこの使節団の団長は誰か、答えなさい。

（２）《資料 1》は、（１）の使節団に同行した人物が書いたものです。この資料中の空らん［ Y ］に当てはまる言葉としてふさわしいものを、次の中から１つ選び、記号で答えなさい。

《資料 1》

イギリスはなぜ豊かなのか。それは、［ Y ］を使用して機械を動かし、綿・羊毛・麻の糸をつむぎ、それで布を織っているからである。……（中略）

西洋の人々が産業のことを話すとき、誰もが言うのは、［ Y ］を産出することが国を豊かにする源であるということだ。……［ Y ］はヨーロッパの工業を支え、国民の経済力を高めているのである。……（中略）

……日本人は幸いにして、工芸の技にすぐれている。物産も豊かである。そして今は文明開化の世の中である。この機会に［ Y ］の両方を使って、刃物やネジや車軸等をすべて国内で製作して、農業・工業・商業を行う人たちが利用できるようにしてはどうか。……

（久米邦武編、田中彰校注『米欧回覧実記』（1979 年、岩波書店）をもとに訳出）

ア　石油と青銅　　イ　石油と鉄　　ウ　石炭と青銅　　エ　石炭と鉄

問8　文中の下線部 g)について、このことに関して述べた文として正しいものを、次の中から１つ選び、記号で答えなさい。

ア　インターネットが充実し、スマートフォンやタブレット端末が普及したことで、日本の工業生産額は飛やく的に増えた。

イ　「三種の神器」と呼ばれた電気洗たく機、テレビ、クーラーという電化製品が多くの家庭に広まり、人々の暮らしが便利になった。

ウ　技術開発や産業の発展が重視されたため、環境汚染が深刻になり、水俣病や四日市ぜんそく等の公害病が発生した。

エ　貿易の拡大や輸出の増加にも力が入れられたため、1960 年代後半に、日本の国民総生産額がアメリカを抜いて世界第１位になった。

問9　小学生の朋子さんは、桐子さんのまとめたカードを見て、歴史上の「旅人」について興味を持ちました。以下の《い》《ろ》の2枚のカードは、朋子さんが自分で調べてまとめたものです。これらに関して、それぞれのカードで紹介されている人物は誰か、答えなさい。また、それぞれの人物が活躍したのはどの時代か、桐子さんがまとめたカード①～⑤の番号で答えなさい。

〈カード《い》〉

私は 10 代のころから、京都の寺で修行をしながら絵を学びました。その後48歳のときに、中国にわたって禅の修行をしながら水墨画を学び、技能を高めました。日本に帰ってきてからは、各地を旅しながらその美しい自然の姿を描き続けるとともに、中国の様式にとらわれない日本独自の水墨画の様式を完成させました。

〈カード《ろ》〉

私は中国の仏教僧ですが、日本に仏教の教えを広めるために困難な「旅」を行いました。10年の月日をかけ、6回目の航海でようやく日本に渡ることに成功した私は、僧たちが学ぶための寺院として唐招提寺を建て、日本の仏教の発展に力をそそぎました。

問10　問9に関連して、あなた自身が「江戸時代の旅人」を紹介するとしたら誰を選びますか。以下の〈例〉を参考にしながら、人物名を1人挙げて、その人物がどのような「旅」を行ったのかがわかるようにしながらカードを作成しなさい。

〈例〉

人物名：伊能忠敬
私は、幕府によって全国の地図を作るように命令されました。そこで、全国を歩いて測量する「旅」を行い、今までより正確な日本地図を作成しました。

2　次の桐子さんと朋子さんの会話文を読んで、あとの問いに答えなさい。

桐子：私たちは約 2 年間も出かけることを自粛してきたわ。お父さんも海外出張がなくなって、以前のようにお土産を買ってくることもないの。

朋子：どこか旅行へ行きたいね。

桐子：東海道・山陽新幹線のぞみ号に乗ったら車窓からどんな景色が見えるかなぁ。

朋子：東京を出発して天気が良ければ【　A　】と山梨県にまたがる富士山が見えるよね。

桐子：【　A　】と言えば【　B　】の生産がさかんだわ。のぞみ号なら東京から 40 分余りで車窓から富士山が見えるよね。

朋子：日本の技術をほこる新幹線だと 1 時間 40 分位で名古屋ね。名古屋を出発すると数分で【　C　】、長良川、揖斐川を立て続けに渡るよね。

桐子：濃尾平野は昔から洪水の被害が多いところなの。そこで、今から約 700 年前に川にはさまれた土地のまわりを堤防で囲んで、その中に田畑をつくり、家も堤防の内側の高いところに築いたのよ。

朋子：教科書にもこのようなところを【　D　】と言うって書いてあったね。

桐子：東京を出発して 2 時間あまりで京都よ。進行方向左側には五重塔で有名な東寺、右側には京都水族館や鉄道博物館が見えるね。この街は外国人にも人気のあるところね。

朋子：新大阪から先は山陽新幹線に入るけど、全線の半分以上がトンネルよ。

桐子：兵庫県内では世界文化遺産に登録されている【　E　】城が進行方向右側に見えるけど、あっという間に通過していくわ。

朋子：兵庫県の次は岡山県ね。瀬戸内海をはさんで四国の【　F　】は日本一面積の小さな県ね。a)瀬戸内地方の気候の特色から麦の生産がさかんよ。別名「うどん県」と命名されているわ。

桐子：本州最西端の山口県から海底トンネルを通過すれば、いよいよ九州の福岡県よ。

朋子：日本は島国だから b)たくさんの海峡があって、技術の進歩とともに橋やトンネルで結ばれるようになったわ。

桐子：のぞみ号の終着駅は福岡県博多駅ね。東京駅から 5 時間余りで着いちゃうわ。

朋子：九州はたくさんの火山があるよね。2016 年の熊本地震や 2020 年の球磨川のはんらん等の自然災害も小学校生活 6 年間の中でニュースになったわね。

問1　文中の空らん【　A　】～【　F　】にあてはまる語を、それぞれア～エの中から１つ選び、記号で答えなさい。

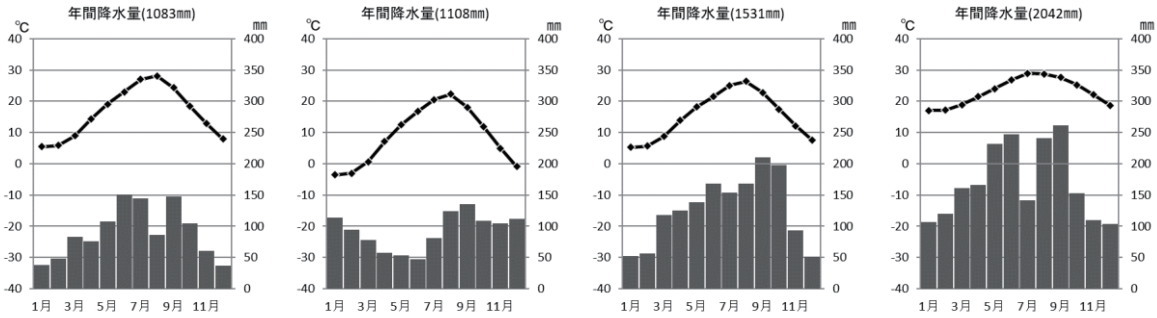
【　A　】	ア　岐阜県	イ　神奈川県	ウ　愛知県	エ　静岡県
【　B　】	ア　りんご	イ　なし	ウ　キャベツ	エ　茶
【　C　】	ア　信濃川	イ　大井川	ウ　木曽川	エ　淀川
【　D　】	ア　台地	イ　輪中	ウ　河川じき	エ　開拓地
【　E　】	ア　松本	イ　犬山	ウ　姫路	エ　小田原
【　F　】	ア　香川県	イ　愛媛県	ウ　徳島県	エ　高知県

問2　２人は東海道新幹線の駅で最もとなり合う都府県が多い県の駅で下車して宿泊することにしました。どこの県に下車するのが良いか、地図を参考にしながら、次の中から１つ選び、記号で答えなさい。

ア　岐阜県　　イ　長野県　　ウ　愛知県　　エ　静岡県

問3　文中の下線部 a)について、麦の生産がさかんな瀬戸内地方の高松市の雨温図を、次の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

ア　　イ　　ウ　　エ



問4　文中の下線部 b)について、北海道新幹線は青函トンネルを通って本州と北海道を結んでいます。青函トンネルのある海峡名を、次の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

ア　関門海峡　　イ　明石海峡　　ウ　鳴門海峡　　エ　津軽海峡

問5　日本各地に興味を持った 2 人は例のように、写真①～④のそれぞれに説明を加えて、旅行先のパンフレットをつくることにしました。あとの問いに答えなさい。

■　例　■オホーツク海■

北海道の冬は低温で厳しい寒さが続くことから、家の窓は二重窓になっています。2 月になるとオホーツク海には流氷がたどり着きます。この海に突き出すように知床半島がのびています。また知床は世界自然遺産にも登録され、シマフクロウなどの希少動物が生息します。

■写真①■

北海道の東部は夏でもすずしい気候を生かして、暑さに弱い乳牛を飼育して牛乳を生産する（　い　）がさかんです。また雨が少ないことから畑作が行われ、小麦、じゃがいも、あずき、砂糖の原料となる（　ろ　）等の作物がたくさん作られます。この地域の農家は全国の農家の平均と比べて、約 20 倍の面積を持っています。

■写真②■

信濃川の下流に広がる平野では、冬季に山地に積もった雪が、春になると、とけ出して豊かな水と豊富な栄養分を土にもたらし、（　は　）の生産がさかんです。（　は　）の消費が減ったことから、国は 1960 年代から（　に　）に取り組みましたが、2018 年から都道府県ごとの生産量の目標設定をやめ、産地や生産者がそれぞれ生産量を決めることができるようになりました。

■写真③■

東京湾の沿岸にたくさんの工場が連なっています。ここは日本を代表する工業地帯で、その生産額の半分以上が（　ほ　）工業です。また、このあたりは、中小工場も多く「ものづくりのまち」とも呼ばれます。東京都大田区では、「仲間まわし」と呼ばれる中小工場同士の協力体制によってものづくりが行われています。

■写真④■

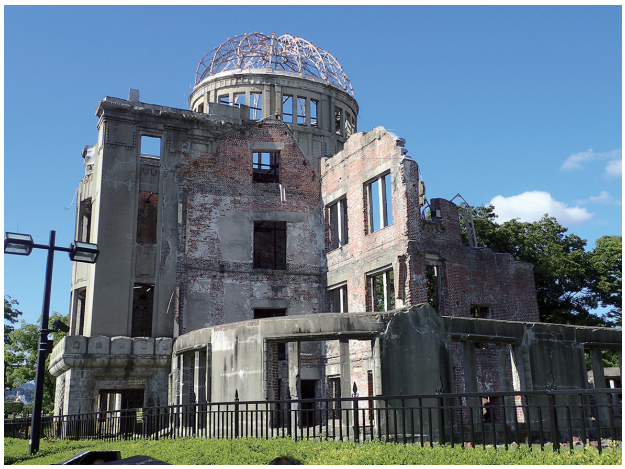
山梨県のほぼ中央部に広がるこの地では、なだらかな斜面に広がる水はけの良い土地と、昼と夜の気温差が大きい気候を生かして果樹栽培がさかんです。山梨県はぶどうと（　へ　）の生産額がそれぞれ日本一となっています。中央自動車道が整備され、首都圏からの日帰り観光客が増え、果物狩りのできる観光農園も多く見られます。

（１）説明文の空らん（　い　）～（　へ　）にあてはまる語を、それぞれ答えなさい。

（２）写真①～④の場所の組み合わせとして正しいものを、次の中から１つ選び、記号で答えなさい。

ア　①石狩平野　②関東平野　③中京工業地帯　④諏訪盆地
イ　①十勝平野　②越後平野　③京浜工業地帯　④甲府盆地
ウ　①上川盆地　②越後平野　③阪神工業地帯　④山形盆地
エ　①根釧台地　②関東平野　③京葉工業地域　④長野盆地

（３）次の写真は東海道・山陽新幹線の沿線のある都府県のものです。その都府県のパンフレットをあなたがつくるとしたら、どのような内容にしますか。写真の都府県名とその説明文を書きなさい。



3　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

現在の a)日本国憲法が制定されたことによって、公共の福祉に反しない限り私たちはどこへ移動しても構わないことになっています。

しかし、日本国憲法が制定された後、しばらくの間は、日本人が海外に行くことには規制がかけられていました。これは、日本の円と外貨（アメリカのドルやイギリスのポンドなどの外国のお金のこと）を交換することが制限されていたからです。第二次世界大戦が終わって間もない頃の日本は、国際社会で見れば経済的におくれた国でした。外国から b)石油等の資源を買いたいと思っても、日本はお金のない国だったため、簡単にこう入することはできませんでした。日本国内にある外貨は非常に貴重なものでしたから、石油のような日本の経済にとって絶対に必要なものを買うためにだけ使える特別なものだったのです。海外旅行に行く人も日本の円を外貨に交換する必要がありますが、その人たちのために交換できるような外貨はなかったのです。このため、当時、海外に行くことができたのは外交官や貿易関係者等のごく限られた人だけでした。

その後、c)日本経済が急速に成長をとげたおかげで、だんだんと日本国内の外貨も増えていきます。その結果、1964 年から日本人が海外旅行に行くことが認められるようになりました。ただし最初の頃は、観光目的で海外へ行けるのは年間で一人一回、海外に持ち出せる外貨は 500 ドルまでと制限されていました。

現代においては、海外旅行や国内旅行に行くことは当たり前のこととなりました。しかし、今は d)感染症対策のために、なかなか旅に出ることも難しくなってしまいました。その一方で、テレワークが広まる中で都会をはなれて地方に移住する人も増えてきています。過そ問題になやむ e)地方公共団体の中には、その地域でのみ有効な決まりである【　A　】を制定し、その地域に移住してくる人に補助金を与えて支えんする仕組みを作るところもあります。また、ワーケーションという言葉も生まれ、観光地でテレワークを活用して休暇をとりながら働くという新しいスタイルも生まれています。

これから日本における旅というものも、今の私たちがイメージするものとはちがった多様なものへと変化していくのかもしれません。

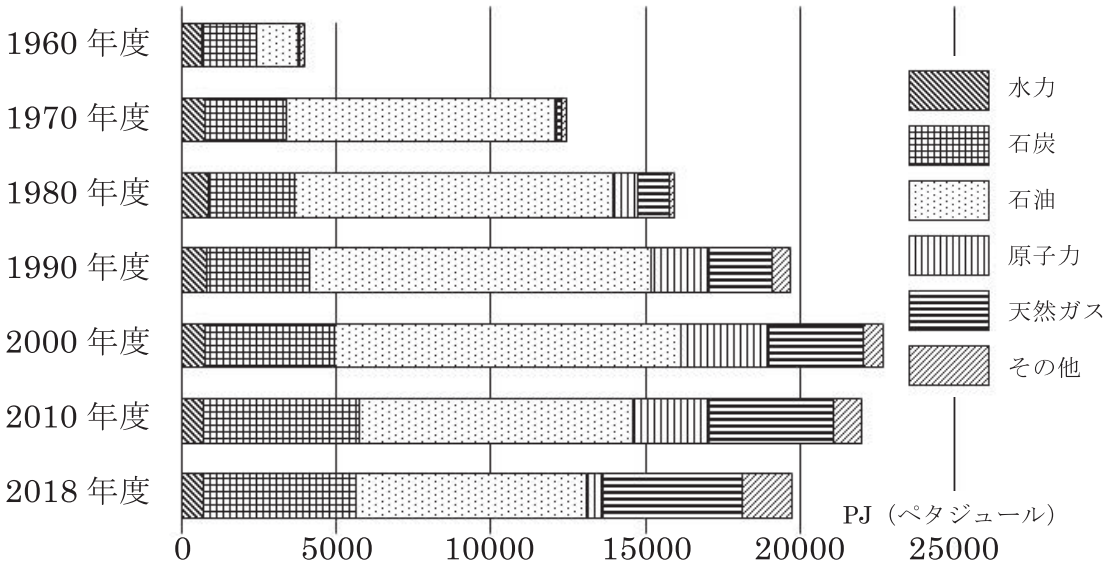
問1　文中の空らん【　A　】にあてはまる語を答えなさい。

問2　文中の下線部 a)について、日本国憲法に書かれている人の移動を認める権利とは何か、次の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

ア　平等権　　イ　社会権　　ウ　自由権　　エ　生存権

問3　文中の下線部 b)について、日本では、様々なものを組み合わせながらエネルギーを供給しています。《図 1》は 1960 年から 2018 年までの日本のエネルギーがどのようなエネルギー源によって供給されているかを示したグラフです。このグラフからは読み取れないことを述べているものを、次の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

《図 1》エネルギー別供給量



「総合エネルギー統計」より作成

※PJ（ペタジュール）：エネルギーの量を表す単位

ア　水力発電によって供給されるエネルギー量は 1960 年以来ほとんど変化していない。

イ　原子力発電によって供給されるエネルギー量は、2011 年の東日本大震災以降、大はばに少なくなった。

ウ　2018 年現在、日本で供給されるエネルギー量の 90%以上が海外から輸入される原料を利用している。

エ　1970 年代以降の日本では石炭よりも石油によって供給されるエネルギー量の方が多い。

問4　文中の下線部 c)について、1950 年代中頃から日本経済が急速に発展した状況を何と言うか、答えなさい。

問5　文中の下線部 d)について、感染症対策として国が行っている仕事の説明として正しいものを、次の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

ア　日本人に対して入国制限をしている海外の国に関する情報の発信を総務省が行った。

イ　海外から日本に帰国する人は、帰国した後の決められた期間は自宅等での待機を義務づける指示を法務省が出した。

ウ　感染症対策のための法律が、内閣が開く閣議で可決され成立した。

エ　感染症対策のワクチンの認可を厚生労働省が出した。

問6　文中の下線部 e)について、地方公共団体が行っている仕事の説明として<u>ふさわしくないもの</u>を、次の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

ア　ゴミの分別のルールを決めたり、ゴミ処分場を建設したりして、地域のゴミ処理をスムーズに行うことができるようにする。

イ　学校や図書館等、その地域に住む人々の生活に必要な施設（しせつ）を建設して、その施設の管理も行う。

ウ　地方裁判所で行われる裁判において裁判員を選定して、裁判員による裁判を行う。

エ　地域を流れる川やその川にかかる橋の整備を行い、大きな災害が発生しても人々が安全に生活できるように対策を行う。